

# Bringing your family to NAIST

## NAIST 在学中の家族支援について

日本へ留学をお考えの皆様の中には、ご家族を連れて来たくても、慣れない環境で学業と家庭生活とを両立できるかどうか不安に感じ、踏み出せない方もいるかと思います。本学には、日本へ呼び寄せた家族と一緒に暮らしながら勉学に励む多数の留学生在籍しています。

本学は、留学生在籍しながら勉強に集中できる環境づくりに取り組むことで、最大限の研究成果を達成してもらうことが、本学全体の活性化につながると考え、受け入れ態勢を整えています。例えば、キャンパス内に家族用宿舎があるため、指導教員の理解の下、授業や実験の合間に育児のため帰宅する学生もいます。配偶者を母国に残し子供を連れて本学に入学する留学生在籍者もいますが、研究室や事務局、学生同士のサポートもあり、保育所や幼稚園、こども園などに子供を預けながら学業を続けています。本学に入学してから結婚、出産、育児を経験する留学生在籍者もいます。また、留学生同士のコミュニティもあり、授業後や週末には、留学生とそこご家族が団らんしています。定期的に行っている学内イベントが交流を深めるきっかけにもなっているようです。

さらに、本学の所在地である奈良県は世界遺産に登録されている建物や史跡が多くある文化的、歴史的に重要な都市であり、日本第2の都市である大阪や古都京都と隣接しているため、観光や買い物にも適しています。各地で季節ごとにイベントや祭りが盛んに行われるため、勉学だけでなくご家族と楽しい時間を過ごしていただける環境です。生活しているうちに日本が安全で住みやすいということもすぐに実感されると思います。

その他本学の長は、学生と教員、職員との距離が近いことです。相談したいことがあれば、いつでもメールや電話、窓口で対応します。また、学生に限らず教員、職員も大学敷地内の宿舎に住んでいる人が多いので、週末に研究室のメンバーでバーベキューを行うなど、私生活においても親交を深めやすい環境にあります。

以下に、NAIST 在学中の家族支援についていくつかご紹介します。

- 家族用宿舎がキャンパス内にあるため、学業に従事する一方で家族との時間も大切にできます。
- 日本は医療制度が充実しており、収入に応じた健康保険料を納めることで、支払いは実際にかかった医療費の3割で済みます。（「こども医療費助成制度」があります）
- 義務教育公立学校（小学校6年間+中学校3年間）は授業料不徴収です。
- 就学援助制度（学校教育法により、「経済的な理由により就学が困難と認められる学齢児童、学齢生徒の保護者に対し、市町村が必要な経費の一部を援助する制度」のことです）
- こども手当（中学校卒業までの子供に対し、毎月手当が支給されます）
- 通園バスの運行（地域や園によります）
- 出産・育児一時金（国民健康保険に加入している場合は、出産後、出産育児一時金が支給されます）